

# CORPORATE PROFILE



# 未踏の未来へ、 ともに挑むイノベーター

社会や事業環境の変化を先取りし、  
変革を続けて、新たな社会価値の創出に挑戦する。

未来を創るのは、私たちだ。

## トップメッセージ

# 変革に挑み、 進化を続ける存在でありたい

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、長期的な視点でめざすありたい姿「経営理念」の実現に向けたマイルストーンとなる

「10年後のありたい姿」に、“未踏の未来へ、ともに挑むイノベーター”を掲げています。

ここには、「前例にとらわれることなく未来に挑むイノベーターとして、誰も踏み入れたことのない領域を切り開き、革新していく存在であり続ける」、そして、「グローバルな産業構造の変化、デジタル化の加速、サステナビリティの重要性の高まりなど、社会や事業環境の変化を先取りし、お客さま・パートナーの皆さまとともに、私たちにしかできない社会的課題の解決に挑戦を続ける」という当社の決意を込めております。

2023年度には、「10年後のありたい姿」の実現に向けた、2021年4月の経営統合以降はじめてとなる2023～2025年度中期経営計画が始動しました。有形・無形のアセットの潜在価値を最大限に活用したサービスや事業経営の展開を通じた「ビジネスモデルの進化・積層化」を進めるなど、役職員全員が一丸となってその達成に取り組んでいます。

国内外において社会や事業環境が大きく変化するなか、過去の延長線上に未来はありません。

私たち自身も、その変化を先取りしながら、常に変わり続けていく必要があります。

グローバルに有する経験、知見などを生かし、イノベーターとして進化を続ける、

私たち三菱HCキャピタルグループにぜひご期待ください。



代表取締役 社長執行役員

久井 大樹

## 経営の基本方針

### 経営理念 ～長期的な視点でめざすありたい姿～

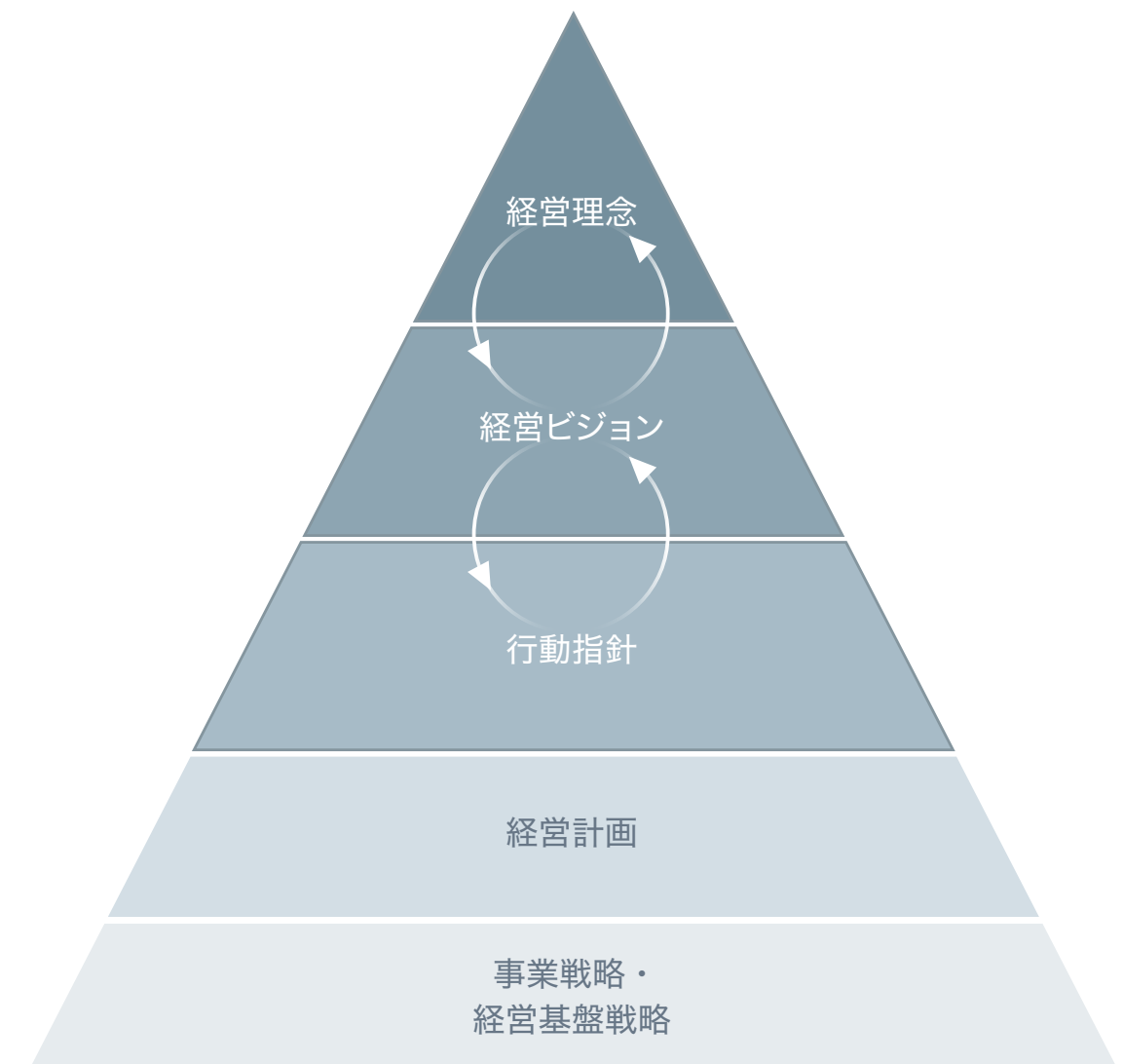
わたしたちは、アセットの潜在力を最大限に引き出し社会価値を創出することで、持続可能で豊かな未来に貢献します。

### 経営ビジョン ～ありたい姿を実現するためにめざすべきもの～

- 地球環境に配慮し、独自性と進取性のある事業を展開することで、社会的課題を解決します。
- 世界各地の多様なステークホルダーとの価値共創を通じて、持続可能な成長をめざします。
- デジタル技術とデータの活用によりビジネスモデルを進化させ、企業価値の向上を図ります。
- 社員一人ひとりが働きがいと誇りを持ち、自由闊達で魅力ある企業文化を醸成します。
- 法令等を遵守し、健全な企業経営を実践することで、社会で信頼される企業をめざします。

### 行動指針 ～社員一人ひとりが“持つべき価値観・心構え”“取るべき行動”～

- **チャレンジ** : 未来志向で、責任を持って挑戦する。
- **デジタル** : デジタルリテラシーを高め、変革を創り出す。
- **コミュニケーション** : 対話を通じて相互理解を深め、社内外のステークホルダーと信頼関係を築く。
- **ダイバーシティ** : 多様性を受容し、相互に尊重する。
- **サステナビリティ** : 人・社会・地球と共生し、持続可能な世界を実現する。
- **インテグリティ** : 高い倫理観を持ち、絶えず基本に立ち返る。



数字でみる三菱H Cキャピタルグループ

純利益

1,238 億円

(2024年3月期)

2年連続で過去最高益を更新

総資産

11.1 兆円

(2024年3月末時点)

株主還元

25期連続増配

(2024年3月期)

※単体ベース

国内外の  
再生可能エネルギー  
発電事業における持分容量

1.2 GW

(2024年3月末時点)

航空機リース事業の  
保有機体数

220 機

(2024年3月末時点)

海上コンテナリースの  
世界市場シェア

業界第 4 位

(CEU※ベース、2023 年12月末時点)

※ CEU : Cost Equivalent Unit の略。新造 20フィートドライコンテナの過去平均購入 価格を1CEU として求める、各種コンテナ 数量の換算単位

Drewry社レポートより

展開国数

世界 20 以上 力国

(2024年3月末時点)

欧州・米州・中国・ ASEAN など

グループ会社数

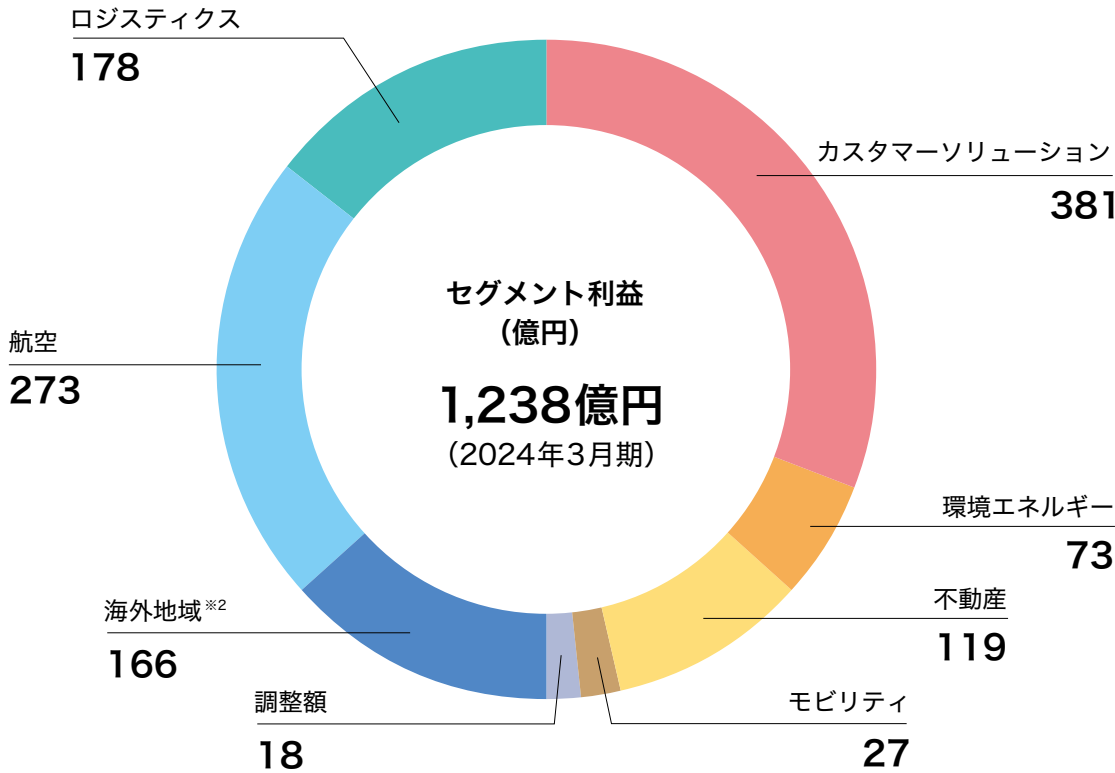
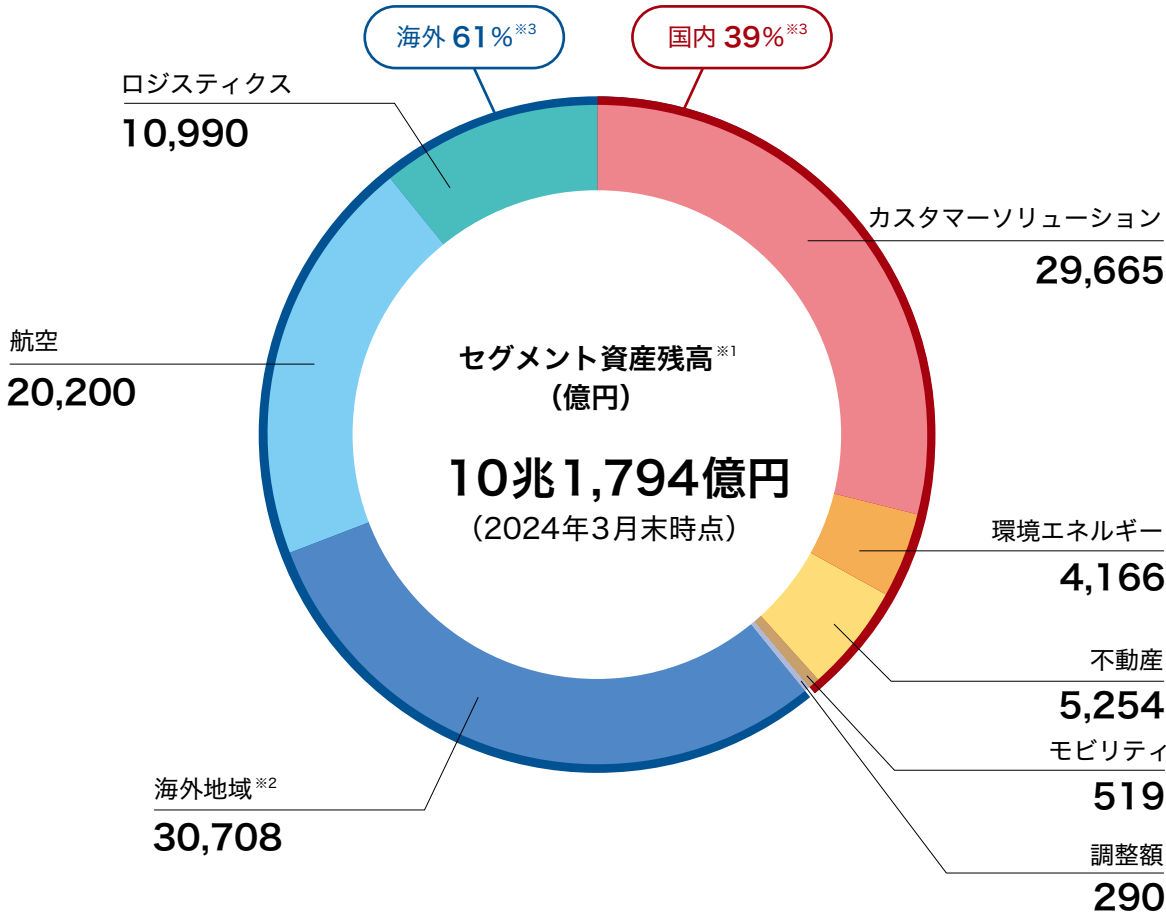
世界中に 240 社 以上

(2024年3月末時点)

従業員数

8,424 人

(2024年3月末時点)



※1 セグメント資産残高=「営業資産残高」+「持分法投資残高」+「のれん」+「投資有価証券等」  
※2 海外地域セグメントの資産残高および利益には、航空・ロジスティクスなどの他のセグメントに属する海外の資産や利益は含みません。  
※3 「カスタマーソリューション」「環境エネルギー」「不動産」「モビリティ」セグメントを国内、「海外地域」「航空」「ロジスティクス」セグメントを海外として集計し、概算の比率をお示ししていますが、一部のセグメントは国内・海外両方の資産が含まれており、実際の比率は上記と異なります。



## 事業内容

豊富に蓄積された知見を活用し、アセットの持つ潜在力を最大限に引き出しつつ、グローバルに事業を展開。  
三菱HCキャピタルグループは、お客さまの挑戦を支えるパートナーとして、新たな社会価値を提供していきます。



### カスタマーソリューション



国内において、法人・官公庁向けにリースをはじめとするファイナンスを中心としたソリューションを提供する「カスタマービジネス」、および提携ベンダー（メーカーや代理店など）の販売を支援するファイナンス機能を提供する「ベンダービジネス」を中心に展開しています。

### 海外地域



欧州・米州・中国・ASEANにおいて、各国・地域の社会的課題やお客さまのニーズを踏まえた顧客向けリース、販売金融をはじめとするファイナンスソリューションを提供しています。

### 環境エネルギー



国内外において、太陽光や風力などの再生可能エネルギー発電事業および環境関連ファイナンス事業を展開しています。  
国内における再生可能エネルギー発電事業の運転開始済み持分容量は、トップクラスの1.1GWです（2024年3月末時点）。

東日本大震災の復興整備事業支援の一環で、福島県浪江町谷津田地区におけるメガソーラー発電事業に出資参画しています。

### 航空



航空機リース、航空機エンジンリース、エンジンパーツアウト事業※など、世界各地の航空会社や航空機整備会社の多様なニーズに対応したサービスを提供しています。

※ 退役時期が近い航空機エンジンを購入し、その解体を行い、各部品を修理後、整備会社や航空会社に販売する事業

次世代航空技術ベンチャーや SAF (Sustainable Aviation Fuel) 等の調査・分析にも取り組んでいます。

### ロジスティクス



グローバルに物流を支える「海上コンテナ」「鉄道貨車」などのアセットをリース・ファイナンスを通じてお客さまに提供しています。

大手海上コンテナリース会社の一角を占める CAI International, Inc. の事業などによる物流効率化への貢献を通じて、世界貿易の発展に寄与しています。

### 不動産



オフィスビル、物流施設、ホテル、商業施設、レジデンスなど、さまざまなアセットタイプを対象に、不動産ファイナンス事業、不動産投資事業、不動産アセット・マネジメント事業などを展開しています。

物流施設の開発においては、省エネ対策を施すなど環境負荷低減に配慮した設計としているほか、非常用電源の設置など、入居企業のBCP対策に貢献しています。

### モビリティ



電気自動車 (EV) の普及の加速、カーシェアリング、自動運転といった新たなサービスの拡大により、大きな転換期を迎えているモビリティ業界において、世界各地のパートナー企業と連携のうえ、付加価値の高いオートリース、モビリティ事業を展開しています。

EVの導入支援など、豊富なノウハウや蓄積されたデータの分析結果などを活用した最適なソリューション提案により、導入企業のさまざまな環境ニーズに対応しています。



会社概要



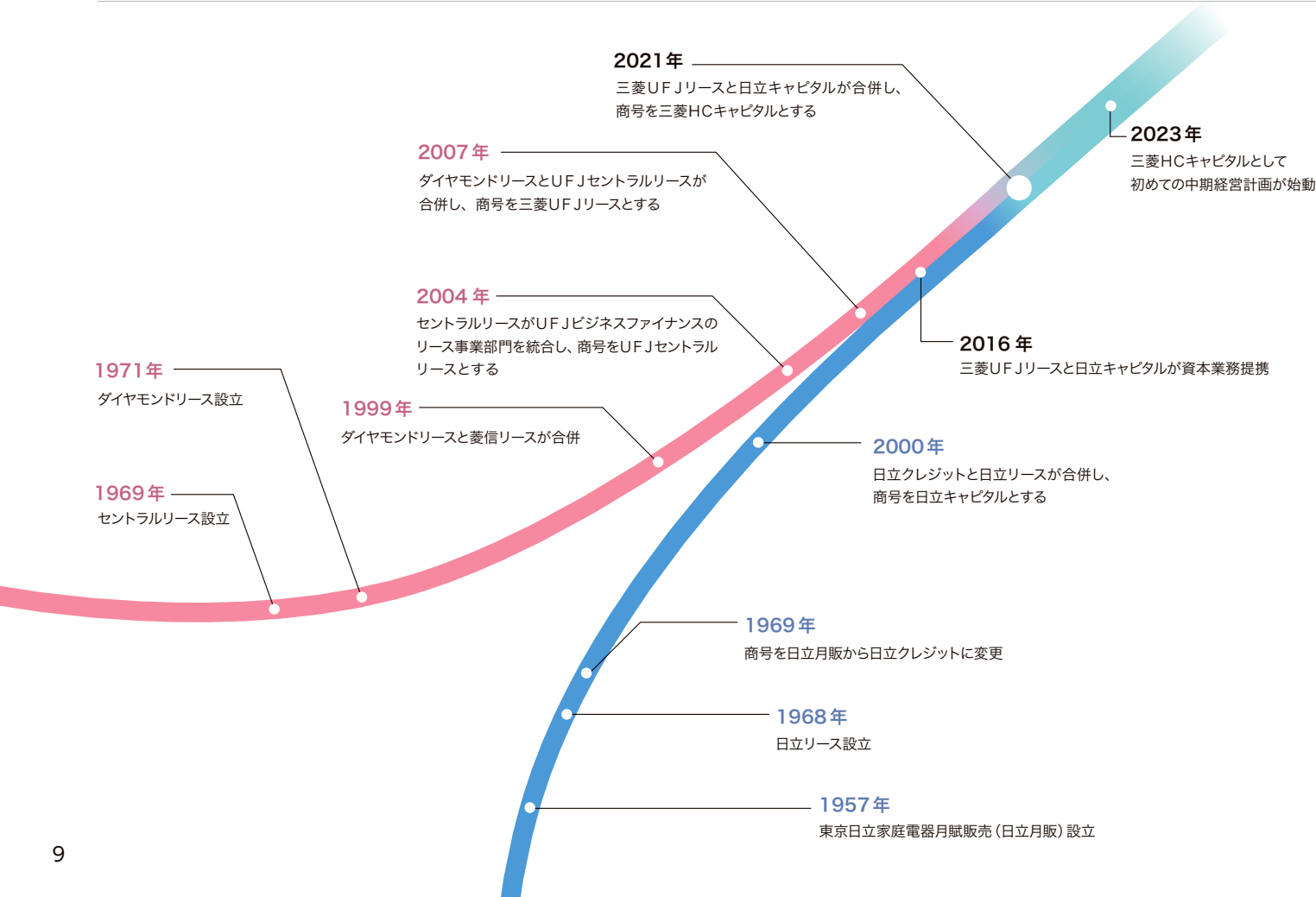
丸の内オフィス

外部信用格付

|    | 日本格付研究所<br>(JCR) | 格付投資情報センター<br>(R&I) | ムーディーズ | S&P |
|----|------------------|---------------------|--------|-----|
| 長期 | AA               | AA                  | A3     | A-  |
| 短期 | J-1+             | a-1+                | —      | A-2 |

※ 2024 年 3 月末現在

歩み



社会とともに

スポンサー活動

三菱HCキャピタルは、スポンサー活動を通じて、スポーツの発展に貢献しています。

サッカー  
チーム



「柏レイソル」

ラグビー  
チーム



「三菱重工相模原ダイナボアーズ」

野球  
チーム



©SoftBank HAWKS

「福岡ソフトバンクホークス」

※2024年3月末日時点

社会貢献活動

■ 花粉の少ない森づくり運動「三菱HCキャピタルグループの森」

公益財団法人東京都農林水産振興財団が推進する「花粉の少ない森づくり運動・企業の森」に、2019年度より参画しています。本運動は、東京都多摩地域の花粉を多く飛散するスギ・ヒノキの人工林を花粉の少ないスギなどに植え替える活動です。育林活動にあたっては、事前に専門家による環境セミナーを開催し、参加する社員の理解を深めた上で実施しており、初年度には、社員90名が約700本のスギ・ヒノキの苗木を植林。その後は下刈りなどの育林作業を続けています。また、本活動を通じた森づくりへの貢献と森林の二酸化炭素吸収量221.13t-CO<sub>2</sub>を評価いただき、東京都より「とうきょう森づくり貢献認証制度：森林整備サポート認定」を受けています。



■ 特別豪雪地帯での雪かきボランティア

2018年度より、特別豪雪地帯に指定される山形県尾花沢市において、雪かきボランティアを実施しています。尾花沢市や地元社会福祉協議会の協力のもと、近隣住民の方とともに、2日間にわたって、単身高齢者宅の除雪を行っており、これまでに延べ100名以上の当社グループ役職員が活動に参加しました。新型コロナウイルス感染症の流行下では、地域住民の方々とのオンライン交流会を実施。当社からは、海外グループ会社も含めた社員とその家族が参加し、交流を深めました。2023年度には、東京ボランティア・市民活動センターが主催する第9回「企業ボランティア・アワード」において、本活動が評価され、「コミュニティ貢献奨励賞」を受賞しました。



■ 障がい者支援施設でのボランティア活動（アイルランド）

Jackson Square Aviation Irelandでは、2017年度より、アイルランド・ダブリン地域において知的障がいのある方とその家族約2,300人の支援を行う慈善団体St. Michael's Houseが主催するボランティア活動に参加しています。St. Michael's Houseは、約170カ所の障がい者向け施設を運営しており、社員は毎年、施設の修理・塗装、窓掃除や、周辺の清掃活動、生垣の刈り込み、ガーデニングなどを行っています。新型コロナウイルス感染症の影響でボランティア活動が叶わなかった2020年度においては、団体主催の募金活動に参加することで、同団体との絆が途切れることのないよう交流を続けました。



■ 古紙リサイクル慈善活動「Receipts Recyclable Project」(タイ)

Mitsubishi HC Capital (Thailand) は、企業による紙ごみの削減を目的に、古紙を回収してノートにリサイクルし、学校などに寄贈する慈善活動「Receipts Recyclable Project」に参加しています。全社員から不要なレシートや紙屑などを収集し、本プロジェクトを主催するタイの有料道路管理団体Don Muang Tollway PCLに寄付しました。2023年度は、Mitsubishi HC Capital (Thailand) を含む参加企業11社が寄付した古紙が約5,000冊のノートに生まれ変わり、12の学校や児童養護施設などへ寄贈されました。



## 三菱HCキャピタル株式会社